



## 「神の声の聞き方」リチャード・ムル How To Hear God Speak Richard Mull

[https://youtu.be/mfm5P58\\_Qcg](https://youtu.be/mfm5P58_Qcg)

今日のゲストは 国中を周っていますが

「常に神の声が聞ける人は 手を挙げて」と／人に質問すると

どのくらいの人が／「聞こえない」と答えますか？

宗派は関係無く どこで説教していくても／9割以上の人人が「聞こえない」と答えます

あなたは バプテスト派の聖書学校に行き／神学校にも 7年間行きましたね

神の声を聞くという／クラスはありましたか？

1つもありませんでした

心理学の教授は 神は語られる／と言う聖句は 4か所しかなく

誤って解釈され

「神が こう語った」という人々は／精神科の助けを必要としている人だ と言いました

心理学者は／一番自殺率が高い職業だと言いますがね…

そして「現代は 異言で祈る必要がない」という／本を読んでから どうしましたか？

異言が間違っているということを／神学的に裏付ける本を探していたので

バプテスト派の牧師から／本を借りて読みました

でも聖句と見比べたとき／この著者の議論が 弱いことに気づき



[www.lehighvalley.com](http://www.lehighvalley.com)

自分の意志に反するけれど／異言が正しいことに気づきました  
 だから「主よ これが本当なら その賜物をください」／と祈ったら 主は異言をくださったのです  
 バプテスト派の大学の／寮で起こったことでした  
 バプテスト派の神学校でですね！  
 1996年に 牧師として仕えるという／素晴らしい機会が 2つあり  
 どちらが 神の御心か わからなくなつたとき／どうしましたか？  
 自分の牧師と親友が／「君は今のところに居留まるべきだと 神が言った」と言うのです  
 「なぜ 神だとわかるのか？」と思いました／当時は 自分も神の声の聞き方を知りませんでした  
 だから 当時／バプテスト派のユースパスターでしたが  
 「『居留まれ』と彫った石を／空から落としてくださるか…  
 石が頭にぶつからないといいけれど  
 そうならなくて良かった！  
 或いは 私のことを全く知らない人を送り『留まるべきだと／神が言った』と言わせてください」とクレイジーな祈りをしました  
 「この 2つのうちの どちらかが起これば／あなたからのものなので 居留ります」と言いました  
 4日間 断食して／1年後に辞めると 教会のリーダーたちに言いました  
 残りの一年間 仕えるけれど／次のミニストリーの支援をしようと思っていました  
 断食が終わった木曜日に／受け付けの人から電話があり  
 牧師と話したいという人がいる と言うのです  
 ロビーに出ると 髪が長くて 手が汚れており／歯が抜けた男性が立っており  
 彼のおんぼろトラックが／外にありました  
 彼は「『牧師に伝えなさい』と神から言われたことがある」／と言うのです  
 お金を恵んでくださいとか／言うのかと思いました  
 でも彼は／「神が言いなさいと言ったのはこれだけです  
 神が私たちを用いるのは 海外とかだと思いがちですが／今いる場所で 神が私たちを用いることもあるのです」と言い  
 彼は泣き始めて「なぜかわからないけれど／神がここに来て 牧師に伝えなさいと言ったのです」と言いました  
 だから 彼をオフィスに招いて／「2つ祈っていたことがあります」と分かち合うと  
 彼はその 2つの祈りの答えを／知っており  
 彼は歌を歌いながら 私に近づき／私の頬にキスして いなくなつたのです  
 これは 普通じゃないと思いました  
 話は もっと面白くなり 8か月後に／このシーソルという預言者が 電話してきたのですよね  
 「神からの言付けがある」と言うのです／会った時にもらった名刺の電話番号は 使えなかったのです  
 不思議なので 天使だったのかと思いましたが／天使が名刺をくれるわけないし…と思っていました



8か月 音沙汰なくて／神から伝言があると言い またやって来たのです  
 受け付けのスタッフ2人は 床に突っ伏していました／彼が彼女たちに 何かを言ったのです  
 自分は 首になると思いました／この教会では こんなことは なかったからです  
 彼は 私のオフィスに入って来て「神の伝言を伝える前に／家に帰って 奥さんのために祈るべきだ」と言いました  
 妻は腰痛で苦しんでいたのです／なぜ彼はそのことを知っているのかと思いました  
 誰にも言ってなかったことですが／その日 妻の呻きで 朝2時くらいに目が覚めました  
 妻は妊娠しており 胎児が坐骨神経に触れるので／痛みがひどかったです  
 だから 彼と一緒に家に戻りました  
 彼は妻のために祈り 次に私に祈ると／自分は カーペットの上に倒れました  
 神の御靈に 圧倒されたのですね／神は何をなさりましたか？  
 幻を見ました  
 丁度一週間前に 教会の十代の男の子が／御靈に圧倒されたときに見た幻について 私に話そうとしました  
 でも私は「御靈に圧倒されるって／聖書のどこに書いてある？」と彼に聞いたのです  
 彼は聖句を言えませんでした  
 そして 神が幻を見せるなら 十代の若者ではなく／ミニストリーの指導者である自分に／最初に見せるのではないかと思いました  
 主よ 私の高慢をお赦しください  
 でも 1週間後に 私自身が／床に倒れて 幻を見たのです  
 天使が 自分の足元にいて／私にシーツをかけているのが見え  
 シーソルも 「天使があなたに外套を／着せている」と言いました  
 彼も同じものを見ているのです  
 それから 剣が空から降ってきて／見えない何かにあたりました  
 すると前に見えなかった幕が見え／その幕を真っ二つに裂いたのです  
 するとケルブか何かの天使が顔を覗かせて／「おいで」と言うのです  
 だから私は幕のあちら側に行きました／すると円い台が真ん中にあって  
 ローマ兵のかぶとが／台の上で回転していました  
 立体的に見えて このスタジオのように／現実に見えました  
 それから星が上から降りてくるのが見えました  
 近づくにつれて そのエネルギーの振動が／私にも伝わってきました  
 ある程度 近づいたとき 「もう十分」と言いました／自分が破裂するかと思ったからです  
 私が息していることを確かめるために／妻も床に ひざまづきました  
 私は起き上がり 自分の神学論による／神さまの枠組みが 壊れたと思いました  
 彼は外套を受け取りました／それを祈りで分かち合ってもらいます  
 続きは CM の後で  
 神はリチャードに どのように神の声を聞くかを／教えてくれました  
 超自然の力を引き出す方法です



バプテスト派の大学の合宿で教えているときに／何かが起こったのですよね  
 「使徒の働き」から講義して／普通のキリスト教とは 何かを教えていましたが  
 自分自身で使徒行伝のようなことを／体験したことがありませんでした  
 これは極端ではなく 普通のキリスト教徒の人生とは／こうあるべきだと話す  
 「こういう生き方をしたい人は？」と聞くと／全員が立ち上がったのです  
 それ自体も バプテスト派では／あまりないことです  
 だから 皆に手を置いて祈り始めると ある女生徒が／髪を引っ張り 服をちぎらんばかりに引っ張り始めたのです  
 体を前後に揺らして／喉の奥から音を出していました  
 この部屋の出口は／どこだろうと思いました  
 神の声を 聞き始めたばかりでしたが／「どうすればよいか 教えてください」と尋ねました  
 声の聞き分けを学んでいたので／これは神か それとも自分の声かと迷いました  
 緊急事態だったので／とにかく聖霊の指示に従おうと思いました  
 イエスの御名で祈ることを知っていたので  
 これは自分の神学論か／それとも聖霊か わからないけれど とにかく祈ろうと思い  
 イエスの名を使って祈り／イエスの血潮と 権威について祈りました  
 異言で祈るようにも促されたので そうしました／人前では そうしたことがあれませんでした  
 バプテスト派の大学でね…  
 手で口を覆い隠しながら／小さい声で異言で祈り  
 「イエスの御名で 自由になれ！」／と叫ぶよう言われた気がして  
 テレビの説教者たちの／真似をしているようでしたが  
 引き下がることもできず  
 「イエスの名で 自由になれ」と言うと  
 彼女は 私を見てから／恥ずかしそうに 下を向いて 顔を隠しました  
 苦しみがなくなったのです  
 だから学生たちに／何が起こったのかを説明しました  
 自分の力で行ったことではないことは／確かでした  
 何か分からなければ／凄いことが起こっていることは 確かでした  
 その後 6か月間／説教する先々で 人の中から悪霊が現れるのでした  
 命が危なくなる状況に／陥ることがありますよね  
 イエスの再臨の時期に近づくにつれ／ますます地が揺るがされます  
 赤ちゃんだったあなたの息子が死んだとき／何が起こりましたか？  
 ナサニエルは ほぼ2歳でした  
 抵抗していましたが／息子にステロイドと抗生物質を投与するように 医者に強く勧められ  
 薬の投与に合意しないなら／医療行為に従わないものとすると脅迫されたので  
 ステロイドと抗生物質を投与させたのですが／36時間後に病院に戻ることになりました  
 息子を胸に抱きながら／「死んだ」という言葉が口から出てきました  
 息子が死ぬことは考えていませんでした／聖書にあるような奇跡は ほとんど見ていたので／死



者が蘇るということも 信じていましたが  
 彼の体を台の上に置き「神よ 私はどうしていいか分からぬけれど／靈的にはどうすべきか分  
 かっています」と言い  
 私は祈り始めました／時間は 8 分、10 分、15 分、20 分とただ過ぎていき  
 その間 医者の質問には 答えていましたが／ナサニエルの靈が 戻るように命じていました  
 彼の靈がいなくなっていたので／「お父さんの言うことを聞きなさい ここに戻ってくるのです」  
 と言い  
 死の靈を叱り／自分が犯した罪を 全て悔い改めていました  
 自分の先祖の罪も悔い改めて／敵が私の息子や 家族を攻撃する権利を 奪い取ったのです  
 22 分経ったとき 幻を見ました／医者たちは まだ医療行為を続けていました  
 部屋の真ん中で／荒波に もまれた船を見たのです  
 でも イエスが船に乗っており／イエスが 息子を蘇らせるという約束だと思いました  
 脳損傷が起こる時間に達していました  
 一どのくらい死亡していましたか？／一その時点で 22 分でした  
 40 分まで死亡していましたが／その後 心拍と血圧が戻ってきたのです  
 それでも息子は 手術を受ける体力がないだろうと／言われました  
 薬により胃潰瘍ができていたのです  
 胃潰瘍が破裂して／体や血液中に毒がまわっていたのです  
 手術可能に回復するまで 2 週間かかり／脳には 障害が残るだろうと言われました  
 でもその夜には 彼は元気に走り回り／脳の障害もないことを 皆が目撃したのです  
 神の力によって蘇ったのです  
 そのような神の力のことを／あなたにも知ってもらいたい  
 CM の後 神の声をどのように聞くか／彼に教えてもらいます  
 イエスは「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます」と／言ったのですから(ヨハネ 10:27)  
 ある牧師を カウンセリングしていたのですね？／彼は 18 年間の結婚生活を去ろうとしていた  
 あなたが 神の声を聞いていなかつたら／彼は離婚していたでしょうね  
 そうでしょうね  
 夜 11 時くらいでした 夜は苦手なので／神からの洞察をもらって 早めに終わらせたいと思って  
 いました  
 運転しながら 問題の根っこを／見せてくださいと 祈っていました  
 挨拶してから 話しをして／「カレンって誰ですか？」と質問しました  
 「あなたの教会にカレンっていう人いますか」と聞いたら／「いない」と彼は答え  
 「過去にはカレンという人はいましたか？」と言うと  
 「15 歳のときに 付き合った人がいる」と言うのです  
 聖靈に示されたので「財布の中に 彼女の写真が入っている？」／と聞くと「はい」と言うのです  
 「写真の裏には 電話番号が書いてある？」と聞くと／「そうだ」と言い  
 「15 歳のとき 彼女と肉体関係を持った？」と聞くと／「そうだ」と答えるのです  
 「あなたは妄想したり 彼女の結婚が破綻したら／よりを戻すことを考えている？」と聞くと



「そうだ」と言うのです  
 「それは 36 年越しの 悪しき魂の絆です／それを断ち切らないといけません  
 そうでないと 不幸せになるし／結婚も ミニストリーも失うでしょう」と言いました  
 その決断をするまで／彼は 15 分も考えていました  
 「それにしがみつくなれば 私にできることは無い」／と言おうと思っていました  
 でも彼が「断ち切らないといけない」と言うので  
 彼は 悪しき魂の絆を持ったことを 悔い改めて／それを断ち切り 結婚とミニストリーは 回復  
 したのでした  
 その牧師は 今では彼の教会で／癒しと解放を行っています  
 神の声が聞けると／何ができるかわかりますよね  
 神は 全てをご存知ですから  
 神の声を聞くための／妨げは何ですか？  
 自分の頭の中で聞こえる その他の声です／「家族や友人はどう思うか？」という声です  
 悪霊の声もあります 自分は悪霊解放とかやりますが／悪霊がどれだけ自分に話しかけている  
 のか 知りませんでした  
 誘惑も頭をよぎります  
 だからすぐさま それらの思いを断ち切りました／すると聖霊が「それはあなたの思いではない」  
 と言うのです  
 自分の頭の中にある／思いのことです  
 敵が私の頭に植えこんだ思いだということを／聖霊が見せてくれたのです  
 自分は神の声の聞き方を教えますが  
 誰かがある考え方を提案すると／私たちの頭には 否応なくそのイメージが浮かびます  
 だから聴衆に「私がこれから言うことのイメージを／頭に描かないでください」と言っても  
 それから何かを言うと／人は必ずそのイメージを頭に描きます  
 だから敵は 偽の幻や夢を／私たちに 見せようとします  
 敵の声も聞こえますし／私たちの意思も 神の声を聞く邪魔をします  
 音楽やテレビなどで／気が散ることもそうです  
 自分の耳は 悪くないけれど／妻が すぐ横で話していても  
 何も聞こえていないことがあります  
 スポーツを観戦していたり／彼女が他の人に話していると思って 聞いていないときです  
 聖霊でもそうです 彼が話していても／私たちの注意が散漫なときがあるのです  
 聞こうとしないから 聞こえないのです  
 それが一番の原因だと思いますか？／或いは 聖霊がどのように話すかを 私たちは知らない  
 自分は 神の声が聞きたいとずっと祈っており／頭にイメージが浮かぶので 戸惑っていました  
 皆 そのように思っているようですが  
 神の声を聞くときは／静まってないといけなくて  
 雲と雷の中から／轟くような低い声が 聞こえるものと思っていました  
 神の声は そうして聞くものだと／思っていました



「エレミヤ あなたは何を見ているのか」(エレミヤ 1:11)と言うように／「リチャード 何を見ているのか」と誰も教えてくれませんでした

自分は 昔から幻を見ていましたが／それには 気を払わなかったのです

考えが浮かんでも それは自分の考えだと思っており／神からのものかもしれないとは 思いませんでした

自分も知恵の言葉で／「聴力」と聞こえたとき

どうしたらしいか分からず／それが神からのものかも 分かりませんでした

だから訓練が必要だった

それを試しながらいくと／成長できます

しばらくすると それが神からのものか分かります／今では妻も 子どもたちも 私が神の声を聞くことを知っています

2、3 コツを教えてください

最初は 静まることです／神に集中するためです

神は静かなときだけ話す と思っていましたが

自分の声が 聞こえないほど音楽がうるさい場所でも

神のかすかな声が はっきり聞こえ

その概念は壊れました

でも静かだと 神に集中しやすくなります

それから書きとめることです

でも「書くのは面倒くさい」と言う人もいますよね

ある考えを受け取ったとき／それが自分か 神か分からぬときがあります

でも何でも書きとめて 聖霊に聞くように と人には教えています

後になれば 自分の考えか 神からのものか 敵からのものか／見分けやすくなるからです

神に話してくれるようにお願いし それを書きとめると

神の御霊が 私たちの靈に働きかけ 思いが湧きあがってきます

そして それを書いていると それが神からのものか分かります

もちろん それが神からのものか 試すことが大切です(第1ヨハネ 4:1)

そのことを ロシア人の姉妹に教えていました

1人は寄宿舎に住み もう1人は両親と 住んでいました

二人とも同じ言葉を受け取り／「あの人たちから逃れなさい 危害を加えます」というものでした

どう受け止めていいか分からなかったのです／だから「書いてくれてありがとう」と言い

「どこから来たと思う？」と聞くと／「悪霊でしょう」

「教会で悪霊のことを教えている？」と聞くと／「いいえ」と言い

「じゃあ どうしてそれが 悪霊だと分かるの？」と聞くと／「私の中に 悪霊がいることを昔から知っていた」と言うのです

15秒しかありません／皆の自由のために 叫んでください！

イエスの御名で 自由になるように！

イエスの御名で 自由になるように！



Japanese Subtitles: lehighvalleyjm.com／Copyright: sidroth.org



[www.lehighvalley.com](http://www.lehighvalley.com)